

鴨居地区社協に思う事

鴨居地区社会福祉協議会
理事 岩岡 正博

人生の大半を社会福祉とは縁遠いところで過して来た私にとって、社協との接点はボランティア活動保険の加入手続きに窓口を訪れたことでした。職場の同志とボランティア部と云うものを立ち上げ、東日本大震災被災直後の東北地方を訪れた際の体験です。奇跡の一本松で有名な岩手県陸前高田市のボランティアでは、とても危険で汚い作業でした。その時、ボランティアを取りまとめる事務局の人から受けた注意は、

ボランティアは軽々しい気持ちで行ってはならない。被災地の人達は身内を亡くしたり、家を奪われたりして心が傷ついている。そんな彼等に観光気分でカメラを向けたり、笑いながら話をするのは厳に慎むように。阪神・淡路大震災では被災地を撮影中のカメラマンに被災者が投げた石が頭部に当たり、カメラマンが死亡する事件があった。

といった内容でした。私はこの精神を忘れないよう毎年ボランティア活動に務めています。

鴨居地区社協では会食、配食、こども食堂など様々な活動があります。活動形態こそ違いますが、向き合う姿勢は同じだと思います。これからは理事としてしっかりと向き合っていきたいと思います。

「コガモひろば」の今

鴨居地区社会福祉協議会
理事 横田 豊美

ケアプラザにて毎月第2、第4水曜日、未就園児を対象とした親子の遊び場【コガモひろば】を開いています。先生をお迎えし、音楽に合わせて体を動かしてペープサートで楽しんだり指人形など子供とママ達の交流する時間を設けています。季節に合わせて簡単な紙工作をしたり、クリスマスには飾りつけをしてクリスマス会を楽しんだりしています。

コロナ禍の前には30組を超える親子が参加する楽しい会が開けました。人数制限のある現在は1時間の2部制にしていますが、定員オーバーでやむなくお断りをする日もあります。コロナ禍の早い終息を祈っております。

岩岡紀一さん、ご勇退

岩岡紀一さんは、地元の信頼が厚く多くの方から慕われ、お願いされる役柄も多く、組織活動を通じ地元の為になりたいと務めてきた緑区交通安全協会や鴨居地区連合自治会の要職を勇退し、20年間という長きにわたり携わられた当地区社会福祉協議会の監事も退任されました。鴨居地区社協への長年のご尽力に感謝申し上げます。

社協より花束を贈呈しました。

告 11月3日(祝) 鴨居福祉まつり 開催予定!!

～編集後記～

まだ、マスクの取れない総会でしたが、肉声を聞き顔の見える会合は良いものです。コロナ感染者が減少し、皆が安心して各種行事に参加して触れ合える日が、一日も早く訪れることを念願しております。



子育てから高齢者まで身近な相談窓口

横浜市鴨居地域ケアプラザ

横浜市緑区鴨居 5-29-8 ☎045-930-1122

子育て・障がい・高齢者・介護のご相談はこちらまで

